

# すわみつえ通信

No.99 2019年 11月18日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

## 福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

「新ごみ処理施設建設」で市長が市議に異例の文書

市民の声を聞かず、封じ込めようとするのは許せません！

11月11日に原口市長よりA4で1ページ半に及ぶ「新たなごみ処理施設整備について」の文書が議会事務局経由で鴻巣市議各位として届きました。内容は新施設建設の経緯に大半を置き、最後に「5年を超える歳月をかけ、ようやく事業の全貌が具体化してきたこの時点で、新ごみ処理施設建設の基本となる建設予定地を変更することは、(中略)私としては断固として容認できません。」としています。

これは「建設候補地を行田市所有の小針」と公約した行田市長や行田市民の民意「建設候補地を見直せ」の市民の声を封じ込めようとするものです。

建設費が当初より増大、総額はいくつになるのか説明なし

洪水時にダム化する現候補地の土壌改善にいくらか費用がかさむのか明らかにしないばかりか、当初248億円と示していた建設費が10月28日の組合議会では600億円を超えることが示されました。これが市長の言う「事業の全貌が具体化した」内容です。後出しで次から次に膨れる総額がいつたいくらなのか、市民に知らせないまま進めてはなりません。断固容認できません。

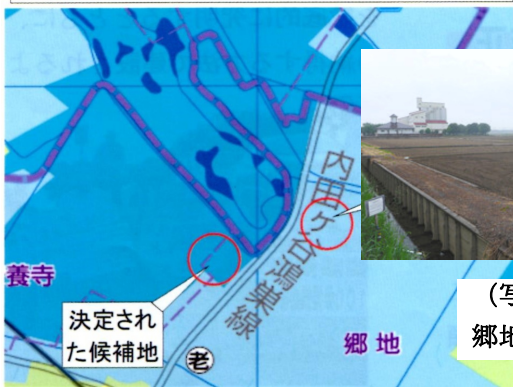
周辺への影響が重要な課題

費用だけではありません。現候補地が果たしている水田5.5ヘクタールの自然ダムとしての治水の役割がなくなりますると、その後の周辺への影響がどうなるのかも重要な課題です。

鴻巣市議会でも当然、議論していきますが、鴻巣行田北本環境資源組合議会の鴻巣選出議員への働きかけも大事です。選出議員は加藤英樹・川崎葉子・坂本晃・田中克美・阿部愼也議員です。一緒に考え合わせて市民参加のもと進めるよう声を上げていきましょう。

利根川洪水ハザードマップ(鴻巣市)

■ 浸水 2～5 m ■ 浸水 1～2 m



(写真上)  
郷地安養寺地区

台風19号被害状況の説明を再度求める

床下浸水など被害が大きかった鴻巣西中学校近くの幸町住民の方と10月15日に市下水道課職員と懇談を行い、市として住民に対する説明会を開くよう申し入れをしました。10月31日に再度申し入れに行きました。

市下水道課から「説明会を行う方向で検討しているが、今すぐに開催できる条件がない。庁内で今後の対策を立て、ある程度説明ができる段階に行つて。来年の3月ごろを目指す。」という回答でした。住民の皆さんはこうしている間に、いつ災害が起こるかわからない。不安を持ちながら生活をしていることを伝え、住民説明とともに対策を強く求めました。

鴻巣市社会保障をよくする会の対市懇談に是非ご参加を

毎年、市に対して予算要望書を提出し、懇談を求めています。今年は公共交通のあり方について懇談をします。

「エマンドタクシー」「コミュニティバス」鴻巣駅東口エレベーター設置についてがテーマです。ご参加いただければと思います。また、「ご意見」「ご要望」がありましたらご連絡願います。

日時/11月21日(木) 13:15 ~ 15:00  
場所/市役所 1001会議室

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



# “ほとんどの県民反対”

## 辺野古新基地

米議会調査局（CRS）はこのほど、日米関係に関する新たな報告書を公表しました。この中で、沖縄県民の圧倒的な反対で工事が大幅に遅れている名護市辺野古の米軍新基地建設について、「日米同盟の難題」であると

## 米議会調査局が新報告書で言及

指摘しました。報告書は県民の民意について、「沖縄県民は一枚岩ではないが、日米同盟の支持者を含め、犯罪、安全性、環境悪化、騒音といった外国軍の負担に懸念を抱いている」と指摘。辺野古新基地建設について、「過去半世紀で最悪」と指摘しています。生活面での理由か

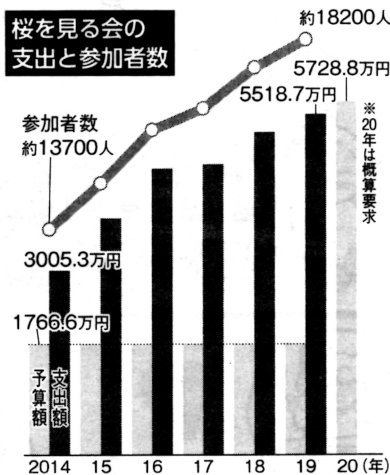
ら、ほとんどの県民は反対している」と述べ、民意の強さを強調しました。

## 潮流

ぬくもりも面影も、記憶にすらない父。働きづめで寝ている姿を見たこともない母。そして、同じように数え切れないほど流された血と汗と涙。それが政治を志した原点でした▼「憲法九条を守り抜く」。2012年まで30年以上も衆院議員を務めた古賀誠さんは、そのために国会に出てきたといいます。閣僚や幹事長を歴任した自民党の重鎮ですが、「九条改正につながるようなことは針の穴程度でもやつてはダメ」と反対し続けました▼9月に刊行した『憲法九条は世界遺産』（かもがわ出版）に思いをつづっています。あの戦争に対する国民の反省と平和への決意を込め、世界に発信した9条。戦後74年、不戦を貫くことができたのは、その力であり、どんなことがあっても次の世代

につないでいかねばならないと▼いま安倍政権は米軍と一体で戦争に向かわせるために自衛隊を9条に明記することを執念深く進めています。この7年間、くらしや経済、外交、民主主義やモラルまで壊しながら▼日本国憲法が公布されて73年となる3日、曇り空の国会前に人びとが集まりました。平和や人権、原発や沖縄、文化や性の平等。結集した「憲法守れ」の幅広い声は、その豊さを示し、全国にひろがりました▼♪光は闇に負けない／真は嘘に負けない／真実は沈まない／決して／あきらめはない。響いた連帯の歌声。市民が立ち上がり、垣根をこえて手をつなげば政治は、社会は変えられる。それはいま国内外で現実となつて表れています。しんぶん赤旗11月4日付

# 国政揺るがす『桜を見る会』来年度中止 私物化認めたも同然 首相の資格問われる



菅義偉官房長官は11月13日の記者会見で、首相主催の「桜を見る会」を来年度は中止すると発表しました。経費と招待人数が年々増加する税金を使った同会開催をめぐって、安倍晋三首相の後援会関係者が多数招待されているという「税金私物化」疑惑を「しんぶん赤旗」日曜版がスクープ（10月13日号）。日本共産党の田村智子副委員長が11月8日の参院予算委員会ですら首相を追求したのを機に国民的な批判が広がり、中止に追い込まれたものです。



「桜を見る会」私物化疑惑で「安倍さんアウト」「即刻退陣」と声をあげる人たち＝11月13日、衆院第2議員会館前

朝日新聞 11月13日付

## 天声人語

検索すれどもすれどもネットのどこにも見つけれない。首相主催の「桜を見る会」に出席した地元の県議や市長らのブログのことだ。共産党の調査資料には載っているのだが、一斉に削除されたのだとしたら、よほどやましいのだから▼本来は「各界で功績・功労のあった人」たちを招待する場のはず。だが実際には、自民党の閣僚や有力者がそれぞれの支援者を招いていた疑惑が持ち上がっている。野党は安倍晋三首相の後援会関係者がきわだつて多かったと指摘している▼「自治会やPTA等で役員をされている方々もおられ、（後援会員と）重複することも当然ある」と首相は答弁した。津々浦々に自治会やPTA役員の方々はおられるが、その功をもちて観桜会に招待された人にお目にかかったことはない▼「給料の上がりし春は八重桜」。首相が詠んだのは5年前。おとしは「風雪に耐えて5年の八重桜」、今春は「平成を名残惜しむか八重桜」。句風はすこぶる平明である▼豊臣秀吉がその権勢の盛りに京都で開いた「醍醐の花見」を思い出す。諸大名やその妻を大勢招いた豪華な宴である。秀吉が歌を詠み、列席者らはこぞ天下人をたたえる歌を披露した▼招待客のブログ探しに疲れ、きのうの夕方、「桜を見る会」が毎年開かれてきた新宿御苑を訪ねた。会ではお酒が提供されるのだが、園内には酒類の持ち込みを禁止する掲示があった。一般の入園者には禁じておきながら、ずいぶん都合のよい話である。